



## 英語のジョーク宅配便

Vol. 70 August 1, 2011

### OUR MISSION STATEMENT

「人を知る最善の方法は、苦しい仕事を一緒にすることと、ジョークを言うこと」と言います。これを「英語で発信」というのが本紙の使命で、受動から能動への一歩です。

「英語のジョークを楽しむ会」が活動領域をさらに広げようという試みです。

地球の一体化が益々進む時代、「英語でジョークを」は、新しい意義を加えるでしょう。

英語のジョークを楽しむ会 代表・宮本倫好

- 本紙は、原則として、毎週月曜日に配信します。
- 執筆者は右の五名の本会会員です。相原悦夫、安藤雅彦、岡田茂富、土屋政雄、豊田一男

### □■本日のお届け品：ピンポン・ダッシュ



A passerby saw a small boy reaching up and trying to ring a doorbell. He stopped and rang the bell for the boy.

“Thanks, mister,” said the rascal. “Now we’d both better run for it!”

#### 【語句と和訳】

- ・ run for it 「走って逃げる」

(通りがかりの男が少年が手を伸ばしてドアのベルを鳴らそうとしているのを見た。彼は立ち止って少年のためにベルを押してやった。「ありがとう、おじさん」と悪ガキが言った。「こうなったら二人とも逃げた方がいいよ」)

#### 【笑いのツボ】

うっかり親切心を起こしてはならないということ。嫌な世の中になりました。

- 今回の担当は豊田一男でした。